

～江社研全体構造図～

社会事象を公正に判断し、社会と主体的にかかわる力を育む学びの創造
～仲間と共に、より良い考えを生み出す授業実践の展開～

- ◇研究仮説1：多面的に社会的事象をとらえられる地域素材や一般的な素材の教材化など、単元構成を工夫することで公正に判断する子どもを育成することができる。
- ◇研究仮説2：調べたことやわかったことを再考し、発信・表現することで、社会と主体的にかかわりをもつ子どもを育成することができる。
- ◇研究仮説3：子ども一人ひとりの考えの持ち方の伸びを的確に見取り、その度ごとにしっかり評価を行っていくことで、社会的事象を自ら調べ、考える子どもを育成することができる。

